

# 四半期報告書

(第59期第2四半期)

自 2020年4月1日

至 2020年6月30日

**美樹工業株式会社**

兵庫県姫路市東延末二丁目50番地

(E00315)

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 1
- 2 事業の内容 ..... 1

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 2
- 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 2
- 3 経営上の重要な契約等 ..... 3

### 第3 提出会社の状況

- 1 株式等の状況
  - (1) 株式の総数等 ..... 4
  - (2) 新株予約権等の状況 ..... 4
  - (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 ..... 4
  - (4) 発行済株式総数、資本金等の推移 ..... 4
  - (5) 大株主の状況 ..... 5
  - (6) 議決権の状況 ..... 5
- 2 役員の状況 ..... 5

### 第4 経理の状況 ..... 6

- 1 四半期連結財務諸表
  - (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 7
  - (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... 9
    - 四半期連結損益計算書 ..... 9
    - 四半期連結包括利益計算書 ..... 10
  - (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ..... 11
- 2 その他 ..... 16

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 17

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年8月11日
【四半期会計期間】	第59期第2四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	美樹工業株式会社
【英訳名】	MIKIKOYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡田 尚一郎
【本店の所在の場所】	兵庫県姫路市東延末二丁目50番地
【電話番号】	079（281）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 魚澤 誠治
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市東延末二丁目50番地
【電話番号】	079（281）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 魚澤 誠治
【縦覧に供する場所】	美樹工業株式会社 大阪支店 （大阪市中央区道修町三丁目6番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第58期 第2四半期 連結累計期間	第59期 第2四半期 連結累計期間	第58期
会計期間	自2019年1月1日 至2019年6月30日	自2020年1月1日 至2020年6月30日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (千円)	15,618,996	13,718,523	29,887,483
経常利益 (千円)	867,596	635,444	1,371,332
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	556,226	428,506	1,071,290
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	578,332	445,659	1,121,681
純資産額 (千円)	13,925,316	14,752,353	14,413,746
総資産額 (千円)	29,258,243	28,272,286	27,678,836
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	508.79	391.98	979.93
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	41.85	46.14	45.97
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,019,001	858,644	1,361,456
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△193,169	△1,403,295	1,155,211
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△64,251	1,305,312	△2,015,997
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,672,244	3,171,997	2,411,335

回次	第58期 第2四半期 連結会計期間	第59期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2020年4月1日 至2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	174.31	38.91

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、今後の推移状況を注視してまいります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### ① 経営成績

当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績につきましては、建設事業セグメントにおいて工事の進捗等による影響により完成工事高が減少したことや、住宅事業セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間での引渡棟数が前期と比較して減少した影響などから、売上高は前年同期比12.2%減の13,718,523千円となりました。

利益につきましては、売上高の減少に加えて、太陽光発電所の取得に伴い売上原価が増加した影響により、営業利益は前年同期比24.7%減の648,149千円、経常利益は前年同期比26.8%減の635,444千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比23.0%減の428,506千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業損益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

#### <建設事業>

建設事業セグメントに関しましては、工事の進捗等による影響に伴い、売上高は前年同期比20.5%減の4,855,939千円、営業利益は前年同期比27.4%減の301,691千円となりました。

#### <設備事業>

設備事業セグメントに関しましては、工事の進捗等による影響に伴い、売上高は前年同期比11.6%増の2,449,440千円となりました。営業利益につきましては、収益性の高い物件の完成に伴い前年同期比54.3%増の141,353千円となりました。

#### <住宅事業>

住宅事業セグメントに関しましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフにおいて、前年同期と比較して引渡棟数が減少した影響等から、売上高は前年同期比13.1%減の5,319,440千円となりました。また売上高が減少した影響により、営業損失80,136千円（前年同期は営業損失3,487千円）となりました。

#### <不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業セグメントに関しましては、当社において前連結会計年度に不動産収益物件を売却した影響等から、売上高は前年同期比13.8%減の710,739千円、営業利益は前年同期比11.8%減の194,586千円となりました。

#### <その他事業>

その他事業セグメントに関しましては、当社において新たに太陽光発電所を取得した影響により、売上高は前年同期比3.4%増の382,964千円となりました。しかしながら、太陽光発電所の取得に伴い売上原価が増加した影響により、営業利益は前年同期比29.1%減の95,764千円となりました。

##### ② 財政状態

###### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、当第2四半期連結累計期間に当社において工事代金の回収に伴い現金預金が増加したことや、当社において太陽光発電所を2ヶ所取得し、機械・運搬具が増加したこと等により、28,272,286千円（前連結会計年度末は27,678,836千円）となりました。

###### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、当社において太陽光発電所取得に伴い長期借入金が増加したこと等により、13,519,933千円（前連結会計年度末は13,265,090千円）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により、14,752,353千円（前連結会計年度末は14,413,746千円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、投資活動により1,403,295千円減少しましたが、営業活動により858,644千円、財務活動により1,305,312千円それぞれ増加した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,171,997千円（前年同四半期末2,672,244千円）となりました。

主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少419,706千円及び未成工事受入金の減少618,716千円等の減少要因がありますが、売上債権の減少1,174,717千円、税金等調整前四半期純利益663,875千円及びたな卸資産の減少383,607千円等の増加要因により、資金は858,644千円の増加（前年同四半期は1,019,001千円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,636,536千円等の減少要因により、資金は1,403,295千円の減少（前年同四半期は193,169千円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出729,389千円等の減少要因がありますが、短期借入金の純増加780,000千円及び長期借入れによる収入1,410,000千円の増加要因等により、資金は1,305,312千円の増加（前年同四半期は64,251千円の減少）となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、その他事業の主要な設備として、太陽光発電所設備を取得したこと等により機械・運搬具が1,197,708千円増加しております。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,153,263	1,153,263	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	1,153,263	1,153,263	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### ①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	—	1,153,263	—	764,815	—	705,825

## (5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合(%)
三木 佳美	兵庫県姫路市	1,670	15.28
三木 博也	兵庫県姫路市	1,517	13.88
有限会社フレンド商会	兵庫県姫路市東辻井2丁目3-10	706	6.46
内藤 征吾	東京都中央区	340	3.11
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP2S DUBLIN CLIENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	33 RUE DE GASPERICH, L-5826 HOWALD -HESPERANGE, LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	276	2.52
平野 勝也	兵庫県姫路市	268	2.45
中田 純夫	兵庫県姫路市	240	2.19
SMB C日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内3丁目3番1号	226	2.06
美樹工業社員持株会	姫路市東延末2丁目50	216	1.97
三木 立子	兵庫県姫路市	214	1.95
計	—	5,676	51.92

(注) 上記のほか、自己株式が600百株あります。

## (6) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 60,000	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,092,200	10,922	同上
単元未満株式	普通株式 1,063	—	—
発行済株式総数	1,153,263	—	—
総株主の議決権	—	10,922	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

## ② 【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
美樹工業株式会社	兵庫県姫路市東延 末二丁目50番地	60,000	—	60,000	5.20
計	—	60,000	—	60,000	5.20

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,391,649	3,137,410
受取手形・完成工事未収入金等	4,313,240	3,138,523
たな卸資産	※ <sup>1</sup> 5,122,282	※ <sup>1</sup> , ※ <sup>3</sup> 4,762,985
預け金	44,686	59,587
その他	359,505	487,745
貸倒引当金	△3,077	△2,187
流動資産合計	12,228,287	11,584,064
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,995,807	2,798,808
機械・運搬具（純額）	774,772	1,887,989
工具器具・備品（純額）	709,740	699,220
土地	9,244,323	9,131,233
リース資産（純額）	106,759	81,543
建設仮勘定	52,540	532,835
有形固定資産合計	13,883,943	※ <sup>3</sup> 15,131,632
無形固定資産		
のれん	40,000	20,000
その他	20,907	13,982
無形固定資産合計	60,907	33,982
投資その他の資産		
投資有価証券	588,128	571,698
繰延税金資産	470,662	491,087
その他	491,749	512,191
貸倒引当金	△44,842	△52,370
投資その他の資産合計	1,505,698	1,522,607
固定資産合計	15,450,549	16,688,221
資産合計	27,678,836	28,272,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,779,634	1,359,928
短期借入金	2,420,000	3,200,000
1年内償還予定の社債	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	947,024	1,067,024
リース債務	52,428	36,669
未払法人税等	260,971	208,781
未成工事受入金	2,065,954	1,447,237
賞与引当金	136,711	165,932
役員賞与引当金	20,300	—
完成工事補償引当金	182,310	60,708
工事損失引当金	—	3,237
資産除去債務	63,066	47,500
その他	822,084	800,792
流動負債合計	9,050,486	8,397,813
固定負債		
社債	—	300,000
長期借入金	2,908,906	3,469,517
リース債務	60,644	47,732
退職給付に係る負債	541,654	553,990
役員退職慰労引当金	91,891	102,732
資産除去債務	240,821	277,623
その他	370,685	370,524
固定負債合計	4,214,604	5,122,120
負債合計	13,265,090	13,519,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	11,311,055	11,641,176
自己株式	△110,378	△110,378
株主資本合計	12,671,317	13,001,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,386	52,148
退職給付に係る調整累計額	△9,522	△8,585
その他の包括利益累計額合計	51,863	43,562
非支配株主持分	1,690,565	1,707,352
純資産合計	14,413,746	14,752,353
負債純資産合計	27,678,836	28,272,286

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	15,618,996	13,718,523
売上原価	12,224,059	10,661,801
売上総利益	3,394,937	3,056,722
販売費及び一般管理費	※1 2,533,897	※1 2,408,572
営業利益	861,040	648,149
営業外収益		
受取利息	4,423	3,394
受取配当金	4,186	3,552
持分法による投資利益	5,935	4,042
その他	16,455	11,405
営業外収益合計	31,001	22,395
営業外費用		
支払利息	17,908	15,495
社債利息	165	165
支払手数料	—	12,760
その他	6,371	6,680
営業外費用合計	24,444	35,100
経常利益	867,596	635,444
特別利益		
固定資産売却益	—	38,454
特別利益合計	—	38,454
特別損失		
減損損失	※2 113,734	—
固定資産除却損	3,020	4,499
投資有価証券評価損	—	5,524
特別損失合計	116,754	10,023
税金等調整前四半期純利益	750,841	663,875
法人税等	158,494	209,915
四半期純利益	592,346	453,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,120	25,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	556,226	428,506

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	592,346	453,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,513	△9,237
退職給付に係る調整額	499	937
その他の包括利益合計	△14,014	△8,300
四半期包括利益	578,332	445,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	542,212	420,206
非支配株主に係る四半期包括利益	36,120	25,452

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	750,841	663,875
減価償却費	247,875	258,889
減損損失	113,734	—
のれん償却額	20,000	20,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	6,637
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,925	29,220
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,000	△20,300
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	20,682	△121,601
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△17,743	3,237
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,187	13,686
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,705	10,840
受取利息及び受取配当金	△8,610	△6,946
支払利息及び社債利息	18,073	15,660
持分法による投資損益 (△は益)	△5,935	△4,042
固定資産売却損益 (△は益)	—	△38,454
固定資産除却損	3,020	4,499
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	5,524
売上債権の増減額 (△は増加)	△410,764	1,174,717
たな卸資産の増減額 (△は増加)	801,892	383,607
仕入債務の増減額 (△は減少)	△614,615	△419,706
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	115,212	△618,716
その他	138,694	△215,846
小計	1,186,174	1,144,781
利息及び配当金の受取額	11,551	8,902
利息の支払額	△18,150	△16,894
法人税等の支払額	△160,073	△277,644
その他の支出	△500	△500
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,019,001	858,644
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△60	—
定期預金の払戻による収入	40,060	—
有形固定資産の取得による支出	△301,385	△1,636,536
有形固定資産の売却による収入	69,060	252,361
資産除去債務の履行による支出	—	△20,029
無形固定資産の取得による支出	△1,388	—
投資有価証券の取得による支出	△892	△300
その他	1,436	1,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,169	△1,403,295
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	480,000	780,000
長期借入れによる収入	420,000	1,410,000
長期借入金の返済による支出	△843,340	△729,389
社債の発行による収入	—	295,625
社債の償還による支出	—	△300,000
リース債務の返済による支出	△57,626	△44,024
配当金の支払額	△54,618	△98,233
非支配株主への配当金の支払額	△8,666	△8,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,251	1,305,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	761,580	760,662
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,664	2,411,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,672,244	※ 3,171,997

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
販売用不動産	2,941,013千円	3,241,522千円
商品	11,874	9,740
未成工事支出金	2,070,800	1,425,288
材料貯蔵品	98,593	86,434
計	5,122,282	4,762,985

2. 保証債務

下記の債務に対して、保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
ユニット住宅購入者が 利用する住宅ローン	1,194,410千円	848,810千円

※3. 有形固定資産の保有目的の変更

保有目的の変更により、有形固定資産の一部を販売用不動産に振り替えております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
販売用不動産	一千円	41,177千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
給与手当及び賞与	986,994千円	940,681千円
役員退職慰労引当金繰入額	9,872	10,840
賞与引当金繰入額	115,671	102,523
退職給付費用	37,613	38,851
貸倒引当金繰入額	400	7,787

※2. 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
兵庫県神戸市	事業用資産	土地	113,734

当社グループは、賃貸不動産については物件ごとにグルーピングを行い、それ以外の資産については損益管理を合理的に行える事業単位で資産のグルーピングを行っております。

当第2四半期連結累計期間において、売却の意思決定をした事業用資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は売却見込額による正味売却価額により測定しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金預金	2,579,547千円	3,137,410千円
預け金	117,697	59,587
預入期間が3か月を超える定期預金	△25,000	△25,000
現金及び現金同等物	2,672,244	3,171,997

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	54,662	50	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月29日 取締役会	普通株式	54,662	50	2019年6月30日	2019年8月30日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月25日 定時株主総会	普通株式	98,386	90	2019年12月31日	2020年3月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年7月29日 取締役会	普通株式	54,659	50	2020年6月30日	2020年8月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設	設備	住宅	不動産賃貸	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	6,106,937	2,195,749	6,121,775	824,221	15,248,683	370,312	15,618,996	—	15,618,996
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	259	167,501	3,676	3,831	175,269	—	175,269	△175,269	—
計	6,107,196	2,363,251	6,125,452	828,053	15,423,953	370,312	15,794,266	△175,269	15,618,996
セグメント利益又は 損失(△)	415,400	91,601	△3,487	220,525	724,039	135,029	859,069	1,970	861,040

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業、飲食事業、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産賃貸」セグメントにおいて、売却の意思決定をした事業用資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、113,734千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設	設備	住宅	不動産賃貸	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	4,855,939	2,449,440	5,319,440	710,739	13,335,559	382,964	13,718,523		13,718,523
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	49	144,794	20,842	10,791	176,478		176,478	△176,478	
計	4,855,988	2,594,234	5,340,283	721,531	13,512,037	382,964	13,895,002	△176,478	13,718,523
セグメント利益又は 損失(△)	301,691	141,353	△80,136	194,586	557,494	95,764	653,258	△5,108	648,149

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業、飲食事業、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全額セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	508円79銭	391円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	556,226	428,506
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	556,226	428,506
普通株式の期中平均株式数(株)	1,093,245	1,093,182

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

2020年7月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………54,659千円

(ロ) 1株当たりの金額……………50円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………2020年8月28日

(注) 2020年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月11日

美樹工業株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 寺本 悟 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 池上 由香 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている美樹工業株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、美樹工業株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。